

ROCKY ROOF CARRIER

SEシリーズ 取扱い説明書

品番 / SE-580・580L・570M・570C

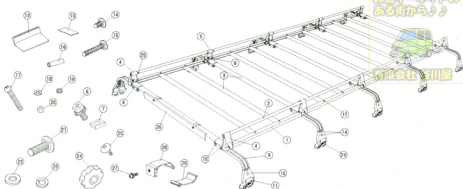
この度は、ロッカーーフキャリア「SEシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態でご利用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。
 製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

ご使用前に

- ▲ **警告** 本製品の改造は絶対に行わないでください。
 本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。
 「例」 部品類の穴あけ加工
 市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
 本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
- ▲ **警告** 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- ▲ **注意** キャリアを取付けた状態で洗濯機にかけないでください。
 キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。
- ▲ **注意** 本製品には積載物の制限があります。制限を超える物は絶対に積載しないでください。
 又、積載物がキャリアから、はみ出す場合は、はみ出し量は前後均等に積載してください。
 裏面、「積載物と積載物の制限について」をよくお読みください。
- ▲ **注意** キャリア装着で高速走行することにより、風の抵抗を受けて風切音が発生します。
 耳障りな場合は、別売「ルーフデフレクター/DF-03/¥6,090(税込)」をお勧めいたします。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。



| No | 部品名称 | 数量 | No | 部品名称 | 数量 | No | 部品名称 | 数量 | No | 部品名称 | 数量 |
|----|--------------|----|----|------------------------------|----|----|---------|----|----|------------|----|
| ① | サイドフレームチャンネル | 8 | ⑩ | 脚ステー | 10 | ⑲ | 丸ネジM6 | 32 | ⑳ | タッピングビス5ミリ | 16 |
| ② | サイドフレームJパイプ | 8 | ⑪ | インナークランプ | 10 | ⑳ | 平座金M6 | 72 | ㉑ | 整流板 | 1 |
| ③ | 荷台フレームJパイプ | 13 | ⑫ | アウトークランプ | 10 | ㉑ | パネ座金M6 | 72 | ㉒ | 丸ネジセットM5 | 2 |
| ④ | サイドコネクター(併し) | 各2 | ⑬ | アウトターボパッキン (アウトターボパッキン専用) | 20 | ㉒ | 六角ナットM6 | 72 | ㉓ | 整流板取付金具A | 2 |
| ⑤ | センターコネクター | 6 | ⑭ | 塩ビシート | 20 | ㉓ | 角根ボルトM8 | 10 | ㉔ | 整流板取付金具B | 2 |
| ⑥ | 六角ボルトM6(短) | 10 | ⑮ | 角根ボルトM6(短) | 20 | ㉔ | 平座金M8 | 20 | | | |
| ⑦ | 六角ボルトM6(長) | 10 | ⑯ | 角根ボルトM6(長) | 20 | ㉔ | パネ座金M8 | 10 | | | |
| ⑧ | ステー金具 | 10 | ⑰ | スペーサー | 20 | ㉔ | 締付ノブ | 10 | | | |

ステンレス材のおしらせ

※ステンレス材は、決して「サビない、わけではありません。」「サビ難い、ということです。サビの発生を抑えるには、定期的なメンテナンスが必要となります。

一般的にステンレス材(磁性の有無問わず)は永久的に「サビない」との認識が流れているように思われますがステンレス材はスチール材に比べて「サビ難い」というだけであり、気象状況や使用状況、使用地域などにより短期間でもサビが発生する場合があります。特に、「塩素」と「硫黄」には非常に弱く、「塩素」では沿岸地域の潮風や冬季山麓部の凍結防止剤、「硫黄」では排気ガス、温泉蒸気、火山灰などが付着したままの状態であれば、サビの発生も早まります。また鉄粉などの付着による「もらいサビ」などもそのままの状態にしておくと、サビが広がってしまいますので十分に気をつけてください。前述のものが付着したと思われる場合はなるべく早めに水などで洗い流し水気を取り乾燥させてください。軽度の汚れやしみが付着した場合は、中性洗剤などをふくませたスポンジやブラシなどで擦り取った後、水で洗い流し乾燥させてください。◎ステンレス協会 参照

ステンレス材の種類として、大きく分けて「磁性の有る(磁石につく)。もの」と「無いもの(磁石につかない)。と2種類に分けられます。磁性の有るものが「サビやすく。無いものが「サビ難い。という意味ではありません。本製品に使用しているステンレス材は、磁性有るステンレス材を使用しておりますが、主に自動車外装部品や、水周りの厨房用品等によく使われる耐食性の良いステンレス材を使用しております。

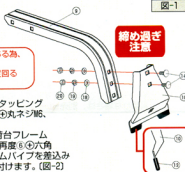
組立て方法

※保護フィルムは全て剥がしてしてから組立てを行ってください。

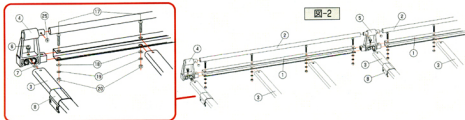
※六角ナットを締付ける際はラチェットレンチの使用せずスパナを使用してください。

- 1 ⑩インナークランプの下端に⑭塩ビシートをはります。
⑮脚ステーと⑩インナークランプを車のルーフの高さに合わせて⑭角根ボルトM6(短)、⑯平座金M6、⑰パネ座金M6、⑱六角ナットM6にて締付けます。(図-1)

△注意 ⑱六角ナットの締め過ぎによる⑭角根ボルトの破損の恐れがある為、締付けには十分注意してください。
締付けの目安はスパナで⑰パネ座金の口が閉じてから90度程度回るくらいです。

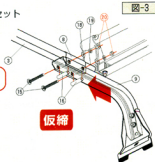


- 2 ④⑤コネクターの上部には②サイドフレームパイプを差込み⑥④タッピングビス5ミリにて固定し、下部には①フレームチャンネルを差込み⑦④丸ネジM6、⑧平座金M6、⑨パネ座金M6、⑱六角ナットM6にて締付けます。
④⑤コネクターに組付けてある⑥④六角ボルトM6を一度外し、③荷台フレームパイプに⑤ステー金具を2ヶ所通しておき④⑤コネクターに差込み、再度⑥④六角ボルトM6にて組付けます。①フレームチャンネルに③荷台フレームパイプを差込み⑦④丸ネジM6、⑧平座金M6、⑨パネ座金M6、⑱六角ナットM6にて締付けます。(図-2)

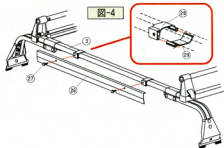


- 3 ③荷台フレームパイプに通した⑤ステー金具の下側に「1」で組付けた脚セットを差込み角穴を合わせ、⑨脚ステーの中に⑫スペーサーをかませ⑬角根ボルトM6(長)を通し、⑯平座金M6、⑰パネ座金M6、⑱六角ナットM6にて仮締めします。この時、最前と最後は外側から⑬角根ボルト(長)を通してください。(図-3)

△注意 車両にルーフキャリアを取付ける際に調整を行う為、必ずこの段階では⑨脚ステーがスライドする程度の仮締めにしてください。



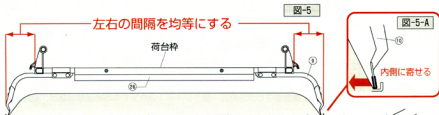
- 4 前方向の③荷台フレームパイプに②整流板取付金具Aと②整流板取付金具Bをスライドして組合せ、②整流板を②④丸ネジセットM5でしっかりと固定します。この時、②整流板がルーフキャリアの中央になっているかを確認してください。〔図-4〕



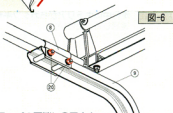
取付け方法

△注意 ルーフキャリアの取付け時は必ず2人以上で行ってください。ルーフのキズやヘコミ、ルーフキャリアの破損の防止になります。

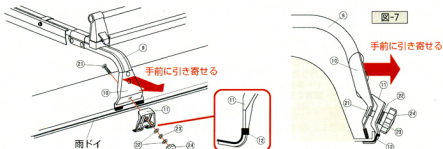
- 1 先程組立てたルーフキャリアをルーフの雨ドイに載せます。この時②整流板を取付けた方が「前」になります。荷台枠と⑧脚ステーの左右の間隔が均等になるように幅の調整を行います。〔図-5〕この時⑩インナークランプを雨ドイの内側に寄せた状態にしておきます。〔図-5-A〕



- 2 ⑩インナークランプを雨ドイの内側に寄せた状態〔図-5-A〕で、先程「組立て方法3」で仮締め状態の②六角ナットM6をしっかりと締付け、⑧ステー金具と⑧脚ステーが動かないように固定します。〔図-6〕



- 3 ⑩インナークランプの角穴の裏から②角根ボルトM6を通し、⑪アウタークランプの下端に⑫アウターバックが組付けてある状態で雨ドイにかませ、⑭平座金M8、⑮バネ座金M8、⑯平座金M8、⑰締付ノブの順でしっかりと締付けます。締付けの際は⑩インナークランプを手前に引き寄せるような感じで締付けを行ってください。手前に引き寄せることによって⑧脚ステーに「ハリ」がでるルーフキャリアの強度が増します。〔図-7〕



- 4 取付け終了後、ルーフキャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

△注意 取付け初期段階はユルミが発生しますので必ず増し締めを行い、走行前には必ず各種取付け部にユルミがないか点検してください。

シグナルマークについて

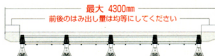
シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

- △警告 - 取扱いを誤った場合に、死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。
- △注意 - 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

積載物と積載物の制限について

- △注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。使用状況によっては60kg未満でも屋根の変形及び、キャリアが破損する場合があります。また過激な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。
- △注意 本製品は荷物用の積載キャリアです。次の物は積載しないでください。[スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィン・ボール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック]
- △注意 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。又積載物がキャリアからはみ出す場合は、はみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

| 品番 | 積載物の制限(単位:mm) | | |
|------------|---------------|-------|-----|
| | 長さ(最大) | 幅 | 高さ |
| SE-580シリーズ | 4,300 | 1,266 | 600 |
| SE-570シリーズ | 4,300 | 1,016 | 600 |



取扱い上の注意

- △警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。
→締付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
- △警告 初期ユルミが発生しますので、初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。
- △警告 キャリアの装着時は特に法定速度を守り、急加速・急ブレーキ・急ハンドル等の過激な避け、悪路では徐行してください。
- △警告 走行中にキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。
- △注意 積載物をキャリアに固定する際は「脚部」を利用してロープ等で固定しないでください。
→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。
- △注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。
→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。
- △注意 積載物をキャリアから載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。
→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりキャリアの破損及び脱落の原因になります。
- △注意 キャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください
→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。
- △注意 キャリア装着時にはラジオアンテナは伸ばさないでください。やむをえず伸ばす場合はキャリアに当たらない所で留めるか、異音が出ないように処置を行ってください。
→アンテナがキャリアに干渉し異音が発生します。
- △注意 キャリアの装着時及び荷物を積載している時は車両の地上高が高くなる為、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

事故が起きたときは

製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。

事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

- (1)事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)
- (2)損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
- (3)事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)
(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

株式会社 **横山製作所** **ROCKY**

名古屋市守山区川宮町190 TEL 052-794-1325 FAX 052-791-2403

<http://www.rocky.ne.jp> mail rocky@rocky.ne.jp